

地域ケア推進協議会と 第1層協議体のしくみについて

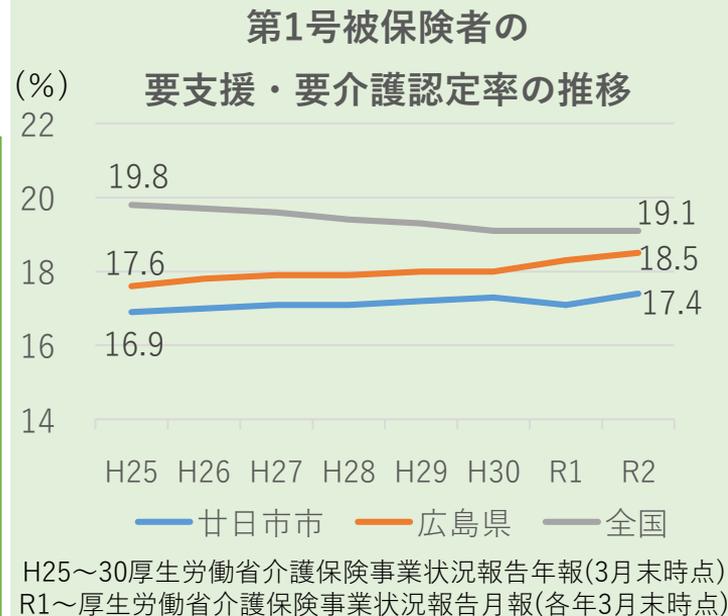
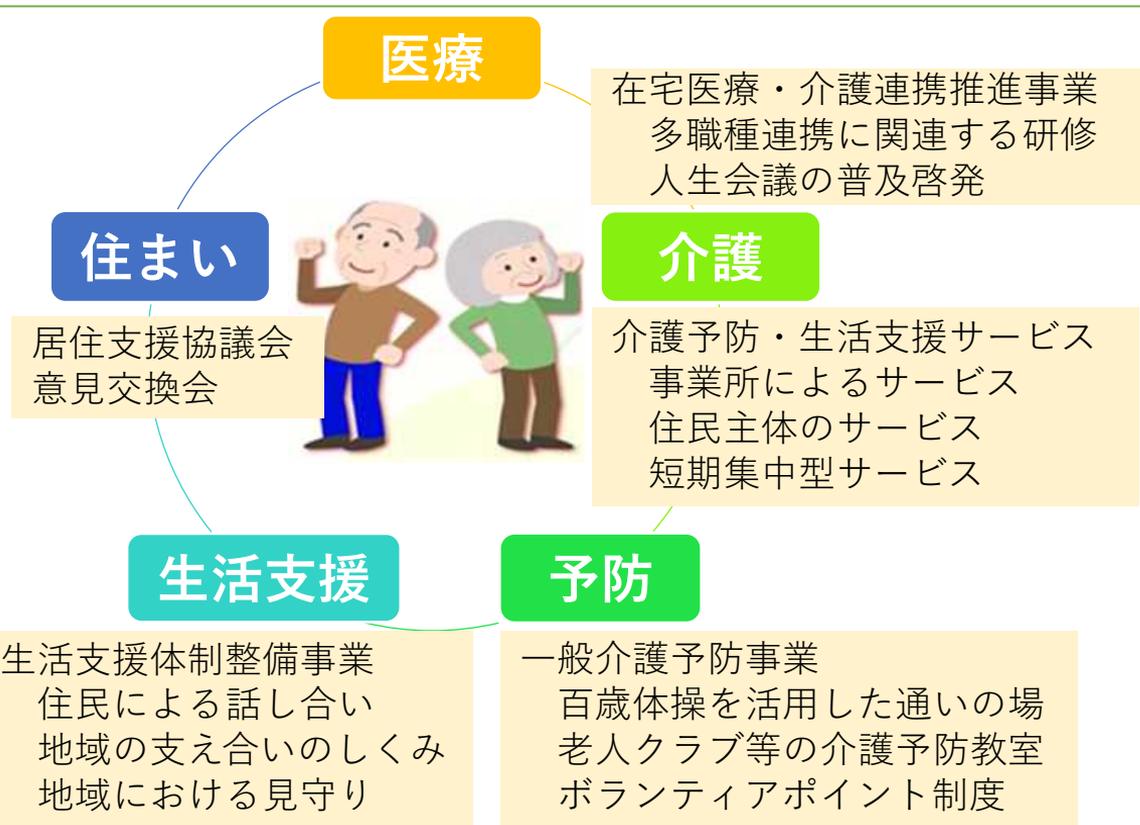
令和3年10月20日（水）
廿日市市福祉保健部高齢介護課

もくじ

- 1 廿日市市の地域包括ケアシステムについて
- 2 これまでの地域ケア推進協議会
- 3 地域共生専門部会における位置づけ
- 4 協議体について
- 5 地域ケア会議について

1 廿日市市の地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムとは、医療・介護・予防・生活支援・住まいに関するケアやサービスを地域で一体的に提供できる体制のことをいう。



↓

本市の認定率は県や国に比べ、低い値で推移しており、これらは取組の成果によるものと推察される。

地域包括ケアシステムの
構築、深化

2 これまでの地域ケア推進協議会（資料3参照）

平成28年度

平成29～令和元年度

令和2年度～

令和3年度～

設立期

地域ケア推進協議会を次の機能を持たせて、設立する。

- ・地域ケア会議における**政策形成機能**
- ・第3層協議体や第2層協議体（住民の話し合いの場）から**上がってきた地域課題を検討する場**とする第1層協議体としての機能

準備期

関係機関・団体との情報共有やネットワーク化を図る。

- ・協議会を構成する団体の活動について共有する。
- ・市の地域包括ケアシステムの進捗について共有し、意見交換を行う。

始動期

全市域の対策を協議する。

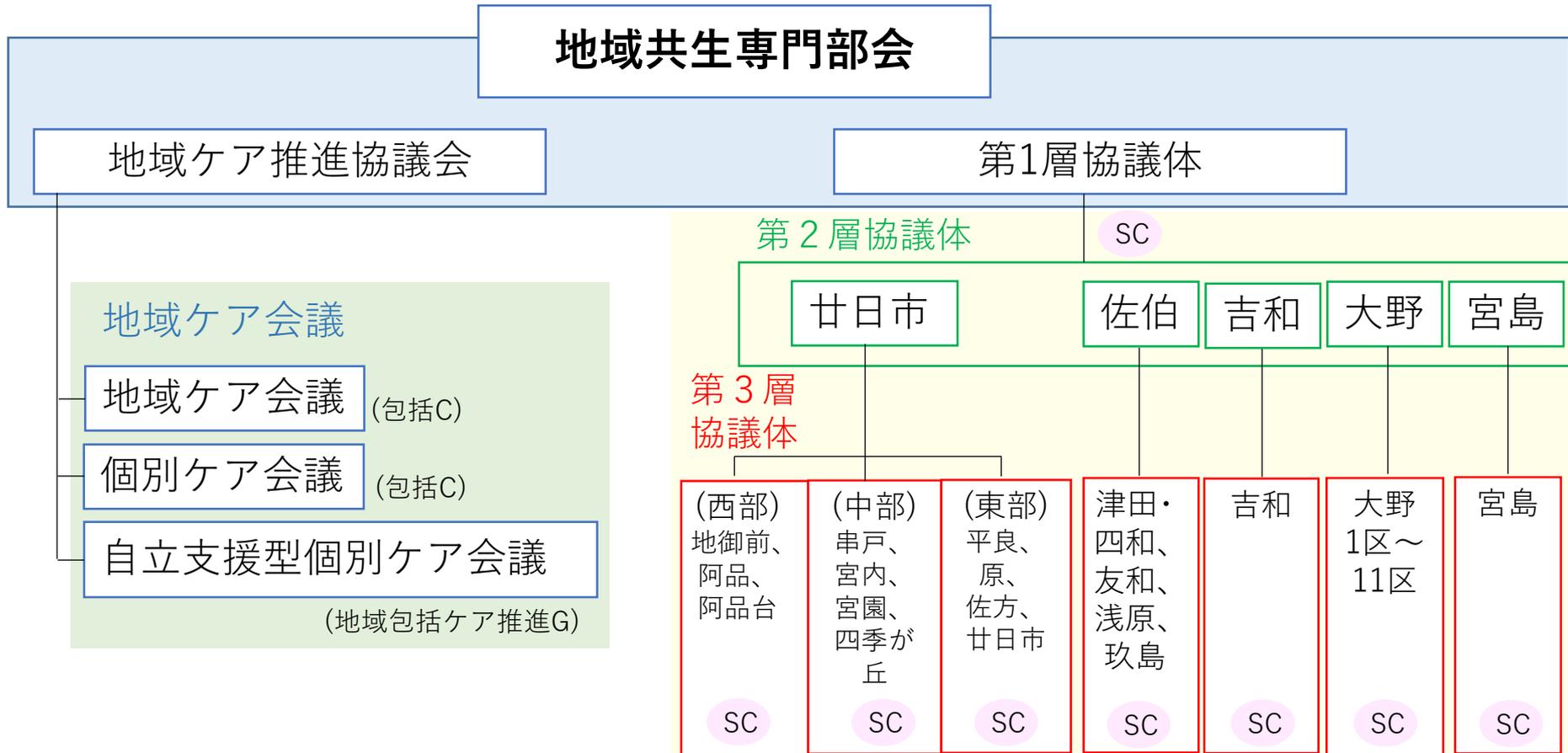
- ・複数の事例から見えてきた高齢者の運転免許証返納に関する課題について、地域の移動支援の実態と合わせて協議する。
⇒ **政策課題**もあるが、**各地域で支え合える仕組み**を検討していく必要がある。

機能期

領域を超えた対策を協議する。

- ・地域課題と政策課題を整理しながら議論する。
- ・制度や分野を超えて、議論する。

3 地域共生専門部会における位置づけ



4 協議体について

協議体の設置状況

	設置済み	未設置
第2層協議体	3ヶ所	2ヶ所
第3層協議体	8ヶ所	20ヶ所

設置済みの第3層協議体の一部紹介（資料4参照）

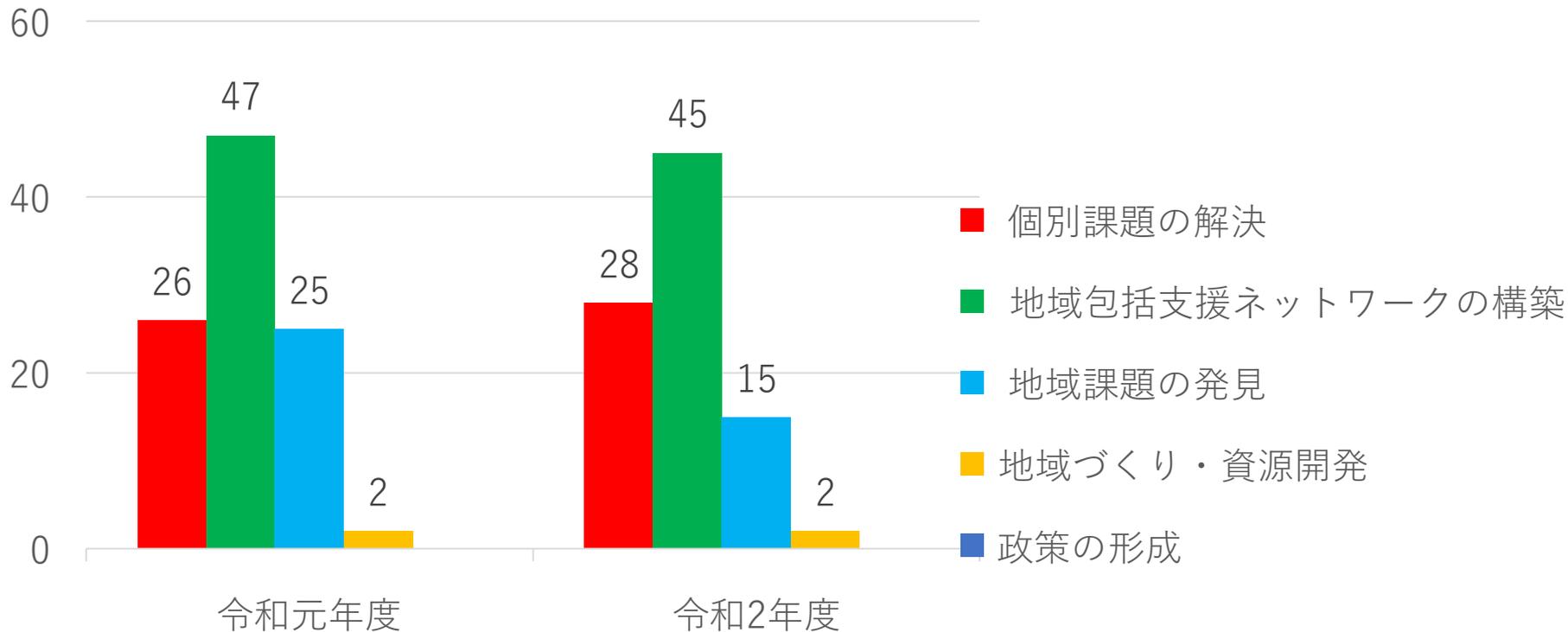
廿日市「廿日市地区まちづくり協議会」	月2回開催。百歳体操を活用した通いの場を運営。今後、子育て・障がいなど、幅広い分野について勉強会を開催する予定。
平良「平良地区福祉をすすめる会」	不定期開催（年4回程度）。サロン活動を中心に「見守りの場」がある。
2区「大野2区地域福社会議」	福祉マップ作成に取り組んでいる。
8区「八区ふれあい福祉の会」	福祉のまち推進事業として「MSK活動」を展開している。

5 地域ケア会議について（1）…5つの機能

機 能	説 明
個別課題の解決	自立支援に資するケアマネジメントの支援、支援困難事例などに関する相談・助言を行い、地域住民の課題解決を支援する。
地域包括支援ネットワークの構築	地域包括支援ネットワークの構築、自立支援のためのケアマネジメントの普及、住民との情報共有、課題の優先度の判断、連携・協働の準備と調整を行い、地域の関係機関の連携を高める。
地域課題の発見	個別ケースを検討する中で、関連して、サービス資源に関する課題、ケア提供者の質に関する課題、利用者・住民の課題などを明らかにする。
地域づくり・資源開発	有効な課題解決方法の仕組み化、関係機関の役割分担、社会資源の調整、新たな資源開発の検討、地域づくりといった取り組みを行い、必要な地域資源を開発していく。
政策の形成	自治体が地域に必要な施策や事業を立案し実施していく。

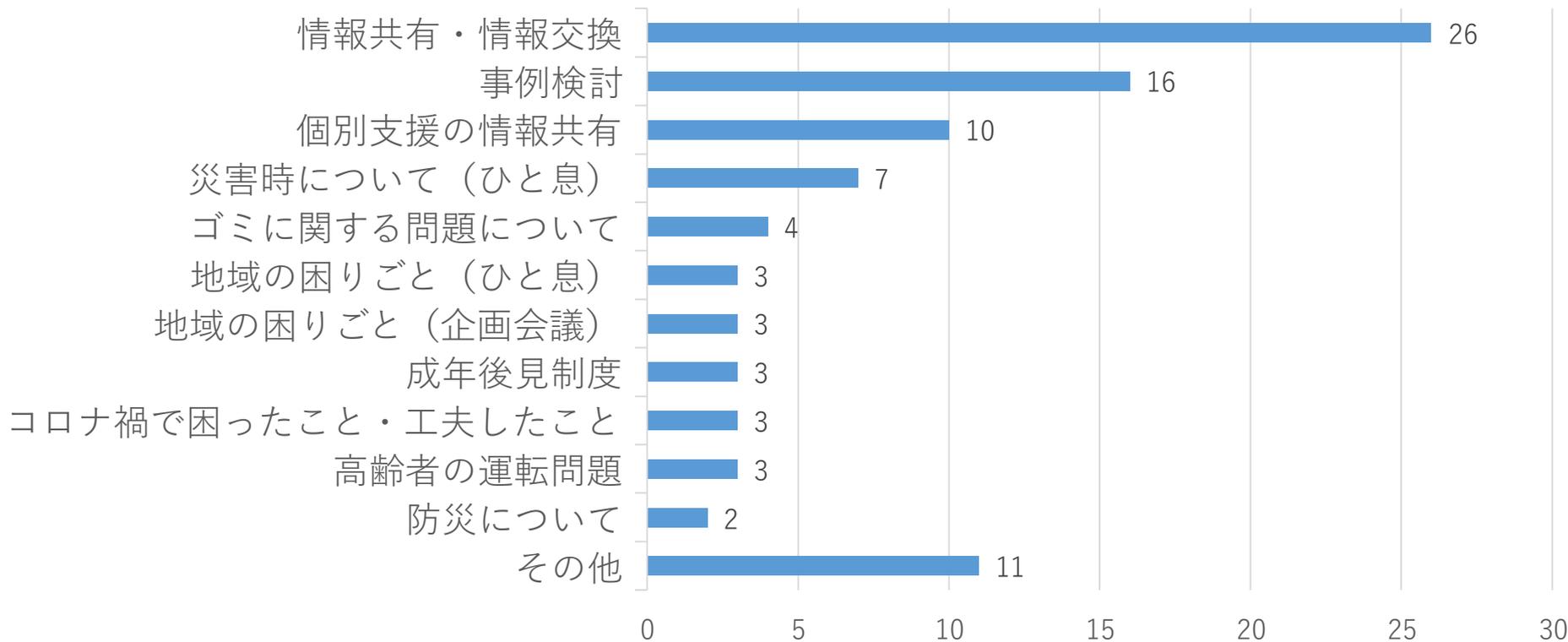
5 地域ケア会議について（2）

機能別に見た地域ケア会議の件数（重複あり）



5 地域ケア会議について（3）

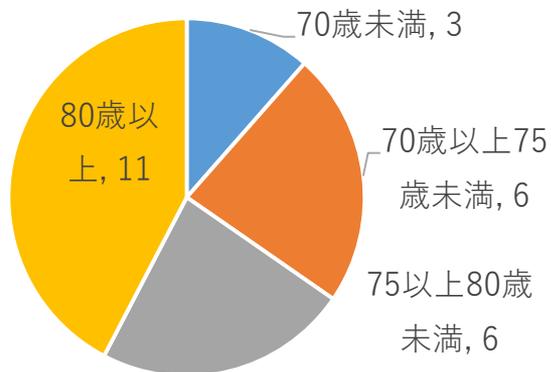
地域ケア会議のテーマ（件数）



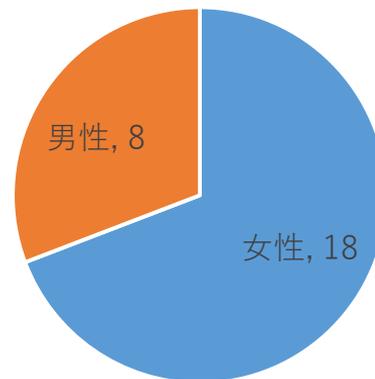
5 地域ケア会議について（４）…個別ケア会議

令和1～2年度に検討した事例：26名

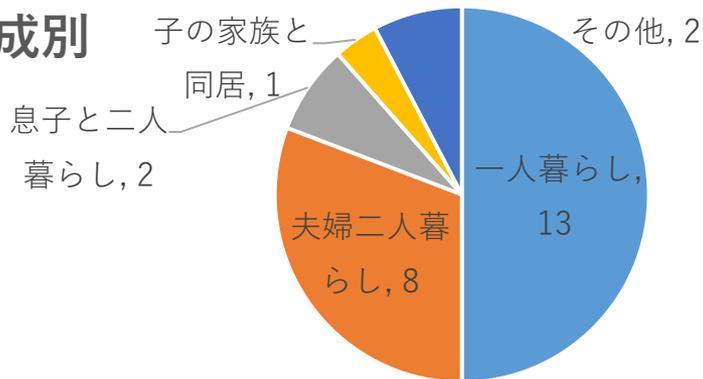
年齢区分別



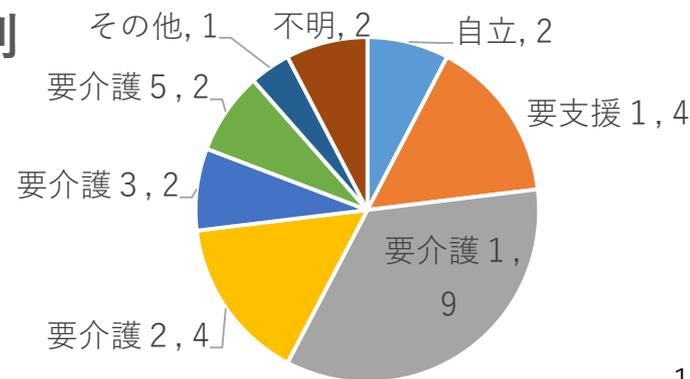
性別



家族構成別

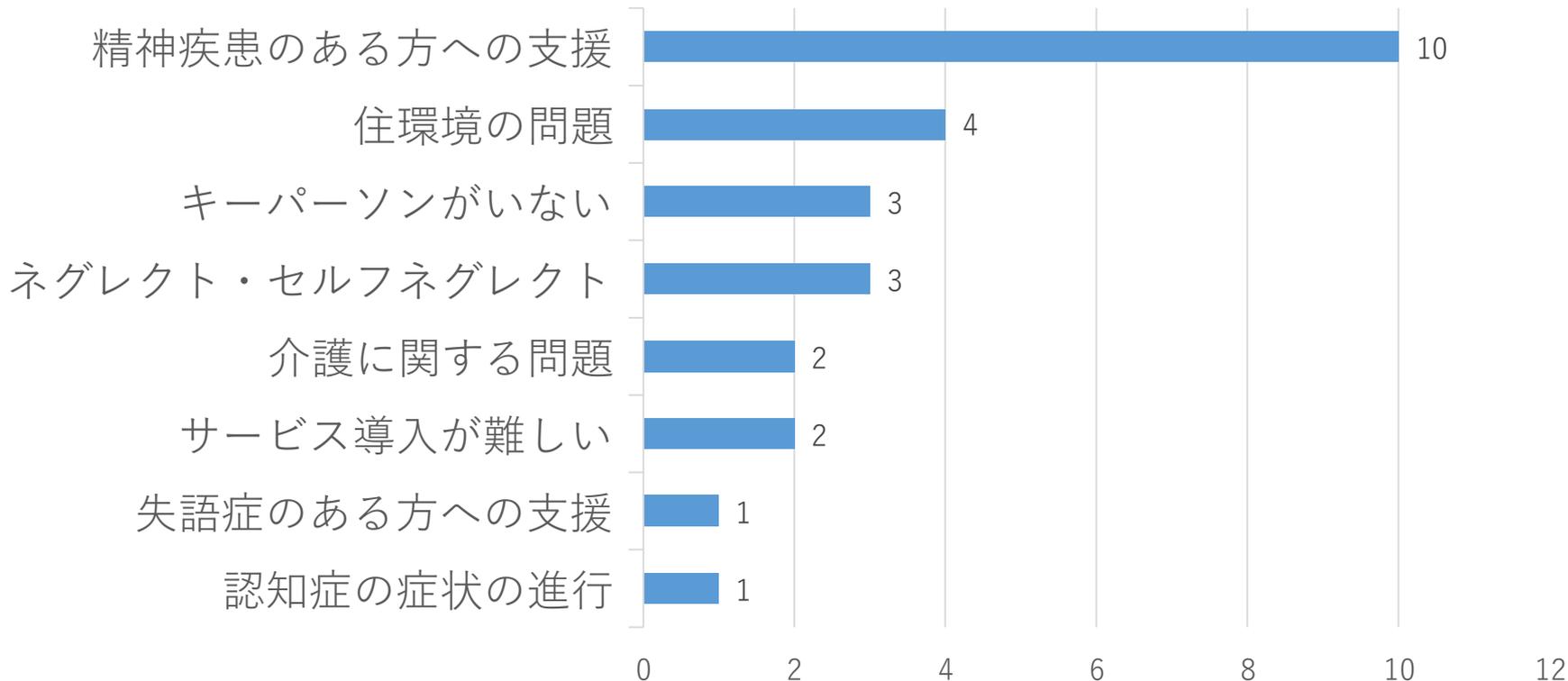


介護度別



5 地域ケア会議について（5）…個別ケア会議

検討した事例のテーマ（件数）



5 地域ケア会議について（6）

自立支援型個別ケア会議とは…

- ・高齢者の**生活上の課題等を明確化**し、**多職種から専門的な助言を得る**ことにより、自立や介護予防に向けた支援内容を検討する。
- ・助言者である委員は、**五師士会の8職種**と**生活支援コーディネーター**で構成する。
- ・令和2年度2回開催し、検討した事例は4件。

事例	課題と目標（抜粋）	助言（抜粋）
80歳代 男性 脳疾患あり 近所の外出可 認知機能低下なし 通所型サービス週1回 妻と二人暮らし 趣味は愛犬との散歩	脳疾患の影響による前屈み姿勢、歩行時のバランスの悪さ、転倒 ⇒（思い）愛犬ともっと一緒に散歩したい ⇒（目標）愛犬と奥さんと一緒に公園内を一周できるようになる	(医師)短期集中型訪問サービスによるリハビリ職による指導を入れてもよい。 (歯科医師)あいうべ体操などの口腔の体操を取り入れてみては。 (理学療法士)デイサービスの目標と今の目標をすりあわせてみては。 (栄養士)嚥下機能の低下が懸念されるので、歯科にも通ってほしい。

5 地域ケア会議について（7）

《今後の地域ケア会議の体系》

